

江南区自治協議会通信

ホームページ：http://www.city.niigata.lg.jp/konan/torikumi/kyougikai/index.html

発行：江南区自治協議会
編集：広報紙発行特別部会
(事務局：江南区役所地域課内)
〒950-0195 新潟市江南区泉町3-4-5
電話：025-383-1000(代表)
FAX：025-381-7090

～ 自治協活動(第四期)を振り返って～

江南区自治協議会 会長 豊岡 克



合併建設計画も今年度で終了、平成27年度から新たな「区ビジョンまちづくり計画」がスタートすることとなります。今年度は、その基本計画を策定・審議してきました。今後確実に実行されることを期待します。

地域の課題や地域活性化のため、区自治協議会の意見を反映し、各地区コミ協、行政との協働事業として取り組んだ「区巡り自転車交流会」の更なる推進を願います。

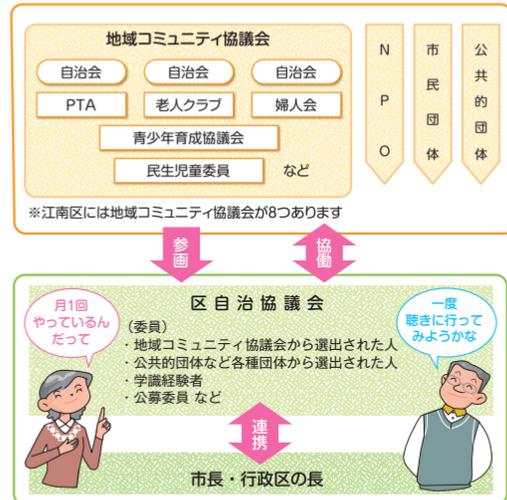
また、「まちづくり」「環境・教育」「安心安全」に関する部会を設け、活発に議論し、活動してきました。「まちづくり」部会では少子高齢化が進む中での、買い物難民が存在することが判明し、解決策を検討するため、地域限定ではありますが、アンケートを実施し、支援してくれる店舗の抽出等を行いました。

平成の大合併から10年。政令市移行8年となった節目の年度を終えようとしています。新潟市内8区の中で、数少ない新・旧新潟市が混在している当江南区。昭和の合併地域である、曾野木・両川・大江山にも目を向けた自治協活動でありたいと思います。そして、本当の意味での一体感の醸成に努める事を今後期待します。

■ 区自治協議会とは

区自治協議会は、区の特徴を活かした魅力あるまちづくりを進めるため、地方自治法に基づいて設置された市の附属機関です。市民と行政をつなぐ「協働の要」として、区民に身近なまちづくりや地域課題の解決のため、多様な意見の調整や取りまとめを行う役割と、総合計画等の計画や公共施設の設置、廃止などに関して、市長やその他の市の機関から諮問されたものについて意見を述べる審議機関という大きな2つの役割があります。

■ 区自治協議会と地域団体の関係



委員は、地域のコミュニティ協議会や公共的団体等からの選出者、学識経験者、公募による選出者、市長が必要と認めた人の30人で構成されています。会議は月に1回開催し、必要なときには部会も開催しています。区の課題など自治協議会自ら必要と認めるものについて、審議し、意見を述べたりすることもでき、自主的な活動なども行っています。

※会議の日程は区役所だより、区ホームページでご案内しています。

■ 各部会の活動の成果をお伝えします ～ 個別のテーマに取り組むプロジェクトを展開しました～

●まちづくり部会 ～ 市民活動見本市プロジェクト～

担当：道路、公共交通、産業振興、コミュニティなど

メンバー：岩瀬耕一(部会長)、五十嵐ノブ子(副部会長)、佐藤正明、野上 敏、豊岡 克、小林 勲、本間 弘、虎澤栄三、白川 進、田邊由美子

今年度まちづくり部会では、昨年度に引き続いて江南区内の地域イベントや取り組みを紹介するためのパネル展示を、さまざまな機会をとらえて実施してまいりました。また、新たな取り組みとして地域に根差したお店などが減少し、高齢者の買い物が困難になってきているとのことで、曾野木地区を選んで現状の調査を行いました。

アンケート調査の結果、「現時点では家族の協力などで何とか生活できているけれども、10年先にはどんな状況になっているのか大変心配しています。」とのご意見が多かったように思います。そこで地元のお店を含め、この地域で利用することのできる買い物支援の方法を調査し、住民の皆さんにお知らせし、利用してもらおうという取り組みを行ってまいりました。この調査結果をまとめましたので、地域で生活するのに、お役に立てていただければ幸いです。

今後も住みよい江南区づくりにどのような活動が必要か検討していきたいと思ひます。

(岩瀬 耕一)



●環境・教育部会 ～ 子ども会議プロジェクト～

担当：生活環境、教育、生涯学習、文化、スポーツなど

メンバー：本間一人(部会長)、湯田昭子(副部会長)、佐藤洵吉、比企裕子、小林修一郎、渋谷健文、福間博子、市川京子、熊谷絵里子、今井麻奈美



環境・教育部会では、昨年度の大江山地区、曾野木地区に続いて、今年度は横越地区、両川地区の小学生を対象としてワークショップ形式で「子ども会議プロジェクト」を開催し、子どもたちの目線で見、区の現状、地域の課題などを学びました。横越小学校では総合学習の時間を利用しての開催となり、学校、地域教育コーディネーターの指導のもと大変スムーズに進行し、100人もの生徒が整然と行動したことに感心しました。

話し合いの中で、地域の自慢できることはさらに良くしていき、見つかった課題は行政に働きかけるという結論になりました。自分達で出来る身近なことは、地域づくりに役立つべく、コミ協や自治会と一緒に解決できるよう行動を起こしたいと思ひます。(本間 一人)



●安心安全部会 ～ 命を守るまちあるきプロジェクト～

担当：防犯、防災、交通安全、地域医療、福祉など

メンバー：目黒 勝(部会長)、若槻宏子(副部会長)、小林良子(副部会長)、中野高子、石井久以知、石田勇雄、阿部由幸、藤崎昌彦、甲 幸信、佐藤信三

平成24年度から「命を守るまちあるきプロジェクト」と銘打ち、江南区全10小学校を対象に、子ども達が実際に標高を調べ、標高板を設置することにより、地域の地勢や成り立ち、歴史を知り、安全安心の機運を高め次世代につなげることを目的として事業を実施してきました。3年間で延べ16校、設置標高板が70枚にもなりました。また、今年度は、希望する自治会・町内会にも標高板を配布、47か所の設置となりました。

来年度は、新規事業として、自治会、町内会を対象に「防災教室」を開催し、地域の防災に対する意識のさらなる向上を図りたいと思ひます。(目黒 勝)



委員の活動を紹介します

議会報告会に参加 ～市議会議員と意見交換～

平成26年11月27日、議会報告会に参加しました。議会報告会の新たな取り組みとして、日頃から地域のまちづくりに直接携わっている区自治協議会委員と市議がグループワーク形式で意見交換を行うという形で開催されました。

グループワークでは、3つのテーマ①少子化対策②今後の医療と介



護のあり方③公共交通のあり方に分かれて話し合いました。

私は少子化対策のグループでしたが、「収入が十分確保できる対策が必要」「確実に子どもを預けられる環境整備を」「若者が夢を持てる政策を！」など活発な意見が出され、有意義な意見交換となりました。



(まちづくり部会所属：田邊 由美子)

消防局指令管制センターを視察 ～消防業務に対する理解を更に深める～

小雨ふる1月27日、豊岡会長をはじめ委員9名が参加し、中央区東大畑通にある標記センターの視察を行いました。

車中での概要説明と、同センター職員から消防業務の中核である指令管制システムの説明、また、年間4万6千件の



「119番」通報から、出勤、現場到着、そして命がけの消火、防災活動についてお話を伺い、緊急通報の際は自宅の電話からの方が場所が確定でき、より速い出勤指令につながるということがわかりました。

(安心安全部会所属：佐藤 信三)



●江南区待望の新施設がまもなくオープン

～自治協議会委員が、4月にオープンする江南区の新しい施設についてその想いを語ります～

●江南区福祉センター 江南区泉町3丁目3番3号

- ・地域福祉推進の拠点(福祉関係共同利用室、子どもたちの居場所など)
- ・市民交流・活動の拠点(交流ひろば、多目的ホールなど)
- ・ボランティア活動の拠点(ボランティアルームなど)

誰もが住み慣れた地域で、その人らしい自立した生活が送れるよう、地域コミュニティの代表の方や民生委員の方、行政、社会福祉協議会が協働で策定した「江南区ふれあいささえあいプラン」に基づき、平成21年度から各地域でさまざまな取り組みを実施してきました。そのプランの中で、身近な地域の「交流の場」「活動拠点」として位置付けられている、江南区福祉センターがいよいよオープンします。



福祉センターの中には、子どもたちの居場所「中高生応援スペース」、子育て支援センター、多目的ホール、会議室、和室などたくさんの施設があります。中央の交流ひろばは、広いスペースになっていて、休憩できるテーブルを設置する予定もあるとのことでした。どんなことでも気軽に相談できるセンターになってほしいと思っています。社会福祉協議会も入ります。にぎやかなセンターになることを願います。



(江南区社会福祉協議会選出委員：小林 良子)

●亀田総合体育館武道場・屋内多目的運動場 江南区茅野山3丁目1番13号

- ・武道場(柔道場2面、剣道場2面)
- ・屋内多目的運動場(フットサルコート1面又は、テニスコート2面)



待ちに待った亀田総合体育館武道場・屋内多目的運動場が4月にオープンします。武道場は柔道場が2面、剣道場が2面あり、屋内多目的運動場はフットサルコート1面又はテニスコート2面の広さがある施設です。市民や関係団体と何度も意見交換しながら設計されており、非常に使いやすい施設が出来たことを喜んでおります。

この地区は昔より武道が盛んなところであり、かつて日本剣道界の昭和の三剣聖と言われた、二本木出身の範士九段佐藤貞雄先生が輩出されております。また、旧亀田町・旧横越村で始まった亀横大会は、現在、江南区親善剣道大会となり各地区の選手が集まり、半世紀近く続いております。このような立派な施設を活用し、大勢の有望な選手が江南区から生まれることを願っております。



(江南区体育協会選出委員：渋谷 健文)

●亀田地区コミュニティセンター 江南区亀田新明町1丁目2番3号

- ・地域コミュニティ施設(多目的ホール、和室、調理実習室、会議室、音楽研修室など)



地域のコミュニティ協議会が主体となった管理運営団体が管理・運営する明るい雰囲気建物ですので、地域活動の中心施設になると思います。多目的ホールをはじめ、和室、調理実習室、会議室、音楽研修室と、用途によりさまざまな活動で気軽に利用できます。例えば、大・少人数の会議、趣味の会、地域での催し物、調理実習やグループでの定期的な活動などで、たくさんの皆さんに活用していただきたいです。

(亀田東小学校区コミュニティ協議会選出委員：湯田 昭子)



編集後記

市の鳥「ハクチョウ」飛躍の節目の年である。合併して10年を経過しようとしている。向こう8年間の「区ビジョンまちづくり計画」、新潟市の総合計画が始まる。区内の旧新潟市地区の整備が急務だ。蒲原平野のコシヒカリで体力をつけたハクチョウの北帰行も始まった。花のたよりと共に、議会の改選もやって来る。誉れ色の満開の花は何処に！ (広報紙発行委員：佐藤 正明)